

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	兵庫県赤穂市	会計名	下水道(公共及び特環)	団体担当者	上下水道部総務課
承認年度	平成19年度	平成23年度 フォローアップ結果	c	電話番号	0791-43-6832

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数	12	11	1	12	1	a
④ 改善額	972	702	▲ 270	617	85	c
⑤ 公営企業債現在高	16,710	17,062	▲ 352	19,265	2,203	c
⑥ 累積欠損金比率						
					総合判定	c

団体名	兵庫県赤穂市
会計名	下水道(公共及び特環)

類型	
----	--

① 地方債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 平成23年度	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
合計	-	-	-	-	-		
うち、やむを得ない事情	-	-	-	-	-		

団体名	兵庫県赤穂市
会計名	下水道(公共及び特環)

類型	
----	--

② 実質公債費比率

(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 平成23年度	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成21年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金					×	
準元利償還金					×	
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源					×	
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金					×	
標準財政規模					×	
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成22年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金					×	
準元利償還金					×	
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源					×	
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金					×	
標準財政規模					×	
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成23年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金					×	
準元利償還金					×	
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源					×	
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金					×	
標準財政規模					×	
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	
実質公債費比率					再算定比率	

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

企業の大口需要が減少傾向にあり、また一般家庭の節水意識の向上等により、有収水量は5,848千m³へ減少した。結果として下水道使用料の料金収入は見込938百万円に届かず884百万円となった。また、平成21年度の料金改定については、開始時期の変更により大幅な料金収入の減少となった。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

今後は、着実な使用料取納率の向上を目指し、滞納処分を実施する等、納付指導に努めたい。

(v)改善方針の進捗状況

使用料対象世帯を正確に把握するため、データの確認作業を実施している。
平成22年1月に使用料改定を実施した。
大口滞納者に対し、使用料の滞納処分を実施、また休日開庁の実施等、使用料徴収事務を強化した。
職員給与3%カットを実施し、また退職者不補充により給与の抑制に努めた。
施設に係る長寿命化計画に加えて、管渠に係る長寿命化計画の策定に着手した。

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平準化債の発行が見込より増額となり、23年度末起債現在高は計画目標を上回ることとなった。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

今後、施設の長寿命化計画に引き続き、管渠についても長寿命化計画を策定する等、適正な維持管理に努め、起債の新規発行を抑制したい。

(v)改善方針の進捗状況

施設の長寿命化計画に引き続き、管渠の長寿命化計画の策定に既に着手しており、適正な維持管理に努めている。

団体名	兵庫県赤穂市
会計名	下水道(公共及び特環)

⑥ 累積欠損金比率

類型	
----	--

(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 平成23年度	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考(説明)	やむを得ない事情
			×
			×
			×
			×
			×
			×
			×
			×
			×
			×
			×
合計	-		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績値(B)			
平成19年度					×
					×
					×
					×
平成20年度					×
					×
					×
					×
平成21年度					×
					×
					×
					×
平成22年度					×
					×
					×
					×
平成23年度					×
					×
					×
					×
合計			-		